

## 【文字の使い分け】

『神』に直接お祈りする時や説明に使う文章には、特別に使う文字があります。

- 5      いただく    いただ    たいかんしき    いただ  
          〔戴く〕（戴冠式などの時に使う“戴く”）  
          ・『神』から直接いただく事を意味しています。  
          いただ    ちようじよう  
          〔頂く〕（山の頂上などの時に使う“頂く”）  
          ・それ以外。
- 10      まことに    まこと    しんじつ    しん    じ    まこと  
          〔真に〕（真実の真の字の“真に”）  
          ・『神』に対する事を意味しています。  
          ・真（まこと）と、神（かみ）は、言霊が共通です。  
          まこと    せいじつ    せい    じ    まこと  
          〔誠に〕（誠実の誠の字の“誠に”）  
          ・それ以外。

15

## 【言霊・音霊】

- 20      ・ 発した言葉は声の大きさに関係なく、無声音でも一語一句、れいかい  
          自分の発言が、自分の運勢や人生に大きく影響を与えます。  
          丁寧な言葉遣い、上品な言葉遣いをしていると、運勢が向上していきます。
- 25      ・ 特に感謝の言葉『ありがとう。』を言っていると、次々に予期しない良い事が生まれて  
          きますので、縁のある大勢の方々に、沢山『ありがとう。』を言いましょう。

※ 『ありがとう。』の意味と具体的な使い方は《71P》より解説

- 30      ・ 神（神様の“神”）、紙（折り紙などの“紙”）、上（上と下の“上”）など音が共通する  
          ものには、通じる場所があります。  
          紙は火と水を大量に使って作るものであり、また、火（カ）と水（ミ）を合わせて、紙（カ  
          ミ）という言霊になります。  
          紙（折り紙などの“紙”）は、神（神様の“神”）に通じます。  
          そのため、トイレトーパー、ティッシュペーパーなどを必要以上に使って、紙を無  
          駄にすることは、神様を蔑ろにする事に通じることになりまますので、運勢が低下しますか  
35      ら、注意して、大切に使いましょう。